

猪苗代町 100年間の歴史



明治時代の洋館「天鏡閣」

- 猪苗代町に残る戊辰戦争の古戦場を調べてみよう。
母成峠や猪苗代湖方面から進軍してきた新政府軍と、会津藩士が激突した古戦場が残る猪苗代。
【検索例】戊辰戦争 古戦場 猪苗代
- 猪苗代を中心に古い街道や交通路を調べてみよう。
猪苗代湖には航路があり米沢藩や二本松藩、白河藩を結ぶ宿場町でした。街道をたどると面白い発見があります。【検索例】猪苗代 街道 宿場
- なぜ猪苗代湖からの安積疎水が必要だったのか調べてみよう。
猪苗代から水を引いた安積疎水ができて、大発展した郡山市。昔はどんなところだったのだろう？【検索例】安積疎水 猪苗代湖
- 明治時代に日本の近代化のために働いた外国人を調べよう。
戊辰戦争で会津に味方した外国人や軍人、技師たちの足跡を調べると、明治時代が見えてくる。【検索例】会津 外国人 明治 戊辰戦争
- なぜ十六橋にファン・ドールンの銅像があるのか調べてみよう。
猪苗代や郡山の人たちに慕われたファン・ドールンの銅像はなぜ台座からはずされ隠されたのだろう。【検索例】ファン・ドールン 明治 技師
- 沼尻鉱山から採れた硫黄は何に使われたのだろう。
戦後硫黄の需要が減ったのはなぜか。用途は？日本の硫黄鉱山はその他どんなところにあったのか。【検索例】硫黄 用途 火薬
- 昭和初期の猪苗代の農村がどんな様子だったかを調べてみよう。
猪苗代町には当時のしきたりをそのままに、嫁入りを再現した行列や民俗博物館があります。【検索例】会津民俗館 祝言 おシンさん
- 鉱石を運ぶために敷設された沼尻軽便鉄道について調べよう。
軽便鉄道と普通の鉄道の違いはなんだろう。実際に沼尻軽便鉄道に乗った人に話を聞いてみよう。【検索例】軽便鉄道 廃線 沼尻

文章中の【検索例】キーワードを、ふたつ以上組み合わせさせてGoogleで検索してみよう。

【イメージ検索を使ってみよう】

Googleのキーワードを入れる窓の上に「ウェブ」「イメージ」「ニュース」「グループ」「ディレクトリ」という文字が並んでいますね。普通は「ウェブ」で検索するけど、例えば『猪苗代湖 白鳥』というキーワードを入れて、「イメージ」で「Google検索」のボタンをクリックすると、ほら！全然ちがう検索結果が出てきたでしょう。



猪苗代町の近代史

幕末まで、会津藩の東の要であった亀ヶ城を中心に発展した猪苗代町と猪苗代湖には人や物資を運ぶ航路があり、会津と白河、二本松、米沢を結ぶ交通の要衝でした。

戊辰戦争によって亀ヶ城が落城、猪苗代湖の水を安積原野に流す安積疎水の工事が明治15年(1882年)8月に完成。明治21年(1888年)7月には磐梯山の火砕、明治33年(1900年)に安達太良山の硫黄山の噴火と、明治時代には歴史上の大事件がありました。

明治37年(1904年)に現在の磐越西線が開通して以降、次第に猪苗代湖の航路や街道が廃れていきました。その時、陸蒸気(汽車)が通過するのを嫌い、町から離れた南側に駅ができたことで、町の中心部は古い建物や通りがそのまま残されたのです。

また猪苗代湖畔には、明治41年(1908年)皇族の有栖川宮殿下が洋館を建設し、ルネッサンス様式を基調とした「天鏡閣」の名は、大正天皇によって命名されました。また大正11年(1922年)に有栖川宮妃殿下のために建てられた「迎賓館」は、純日本風の木造平屋建、銅板葺きの屋根、総檜づくり、釘を一本も使わない建物で、昭和天皇、皇后がここで新婚の1ヶ月間を過ごされました。このように皇族との関係が深いのも猪苗代町の歴史なのです。

大正2年(1913年)から昭和44年(1969年)までの57年間、沼尻鉱山からケーブルで運ばれた硫黄鉱石を運ぶため、軽便鉄道が敷かれ沼尻駅と川桁駅の間約16kmを45分かけて走っていました。その当時この地方で唯一の交通機関であったこの鉄道は「マッチ箱」「豆汽車」と親しまれ、多くの湯治客や観光客を運びました。

こうした歴史をもつ猪苗代町は、ちょっと横町に入ると野口英世の時代にタイムスリップしたような建物や史跡が残っているのが魅力です。猪苗代の自然と歴史、生活文化を知り尽くした「いなわしろ伝保人」が、観光ガイドには絶対載らないような小さな発見のお手伝いをします。皆さんの疑問、質問、奇問、珍問にもきっと答えてくれるはず。ぜひ一緒に歩いて古い猪苗代を体験してみよう。



沼尻軽便鉄道(新井晴彦氏提供)



遠藤現夢の墓

磐梯山の噴火によって荒野と化した裏磐梯に緑を戻すため尽力した遠藤現夢が眠る墓があります。

銅沼（あかぬま）

磐梯山噴火の中心地。いまでも不気味な赤い水をたたえています。

戊辰戦争戸の口原古戦場

白虎隊がこの辺で新政府軍と遭遇した。

摺上原古戦場

会津の幕名氏と米沢城主だった伊達政宗が戦った古戦場。

母成峠

二本松方面から攻め上ってきた新政府軍を会津藩が迎え撃つために築いた土塁跡が残っています。

見祢の大石

磐梯山噴火の際に押し流された家ほどの大石が今も残る場所。

沼尻軽便鉄道跡

この辺りを沼尻鉱山と川桁駅を結ぶ軽便鉄道が走っていました。

亀ヶ城公園

会津藩が東の守りのため置いた出城。本丸は戊辰戦争で消失。今は公園になって石垣だけが残っています。

野口英世の生まれた家

明治9年(1876年)、野口英世はここで生まれ、生家は今も残されています。

天鏡閣・迎賓館

有栖川宮殿下が造った洋館と、昭和天皇が新婚旅行で過ごした日本家屋が保存されています。

十六橋

安積疏水を作ったファン・ドールンの銅像はここにありま。

近代国家をたち上げた人々

幕末から明治維新にかけて日本が近代国家に生まれ変わろうとした時、800年以上続いた武士社会の幕引き役を演じたのは会津藩でした。

なぜ新政府軍に全面を包囲されて悲劇的な滅亡を遂げなければならなかったのか。明治になってからの会津人の活躍、明治維新において会津藩が果たした役割など、調べれば調べるほど歴史の奥深さと面白さがあります。

また、日本の近代化を急ピッチで進めた明治政府が、高額報酬で雇い入れた外国人技術者が、どのような仕事をしたのか。猪苗代湖のからの水資源確保のために行われた大工事。それが日本の近代化と当時の社会に、どのような影響をもたらしたかを「安積疏水」の現場に立って考えてみましょう。歴史を学ぶのは、過去に犯した誤りを再び繰り返す愚かさから救われる唯一の方法なのです。

猪苗代町近代史関連 Webサイト

戊辰戦争の古戦場 【Goog 検索】 戊辰戦争 猪苗代 古戦場
<http://www.53.tok2.com/home2/osanpo/sanpo5.htm>

摺上原古戦場について 【Goog 検索】 磐梯王国 摺上原
<http://www.db.fks.ed.jp/txt/10052.002/hm/I00016.htm>

遠藤現夢とは 【Goog 検索】 遠藤現夢 五色沼
<http://www.tifne.jp/jn/at/SearchCoLmnDetailg-22-a-1-c-581.pst>

磐梯山の噴火口、銅沼 【Goog 検索】 磐梯山 銅沼
<http://www.asahi-net.or.jp/QY5S-SOZK/bandai/bandai.htm>

亀ヶ城について調べる 【Goog 検索】 磐梯王国 中世
<http://www.db.fks.ed.jp/txt/10052.002/hm/I00012.htm>

見祢の大石とは何? 【Goog 検索】 ふくしま 猪苗代町 文化
<http://www.db.fks.ed.jp/bunru/10052/10052m/inzokubunka01.htm>

天鏡閣と迎賓館 【Goog 検索】 猪苗代 天鏡閣 迎賓館
<http://www.5.ocn.ne.jp/fukanko/tenkyokaku.htm>

ファン・ドールンの功績 【Goog 検索】 疏水 ドールン 安積地方
http://www.asahi-net.or.jp/ij7k-kbys/menu_fan.htm